

◆クラブテーマ◆

「八重山の未来へ奉仕しよう」

会長：黒島 剛 副会長：大浜 勇人 幹事：吉田 貴紀 副幹事：松田 新一郎
公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：玉城 力
クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくくる(心)

今月のロータリーレート 1\$¥116

島素材の産物

～島の素材を活かす知恵と技～

【タコノキ】

気根がタコの足のように幹を取り巻く姿はタコノキ科に見られる特徴です。葉は細長く1mほどに達し、両端に鋭い鋸歯を持つので要注意。実から食用油を取ることもあるようです。鋸歯を切り落としテープ状にした葉を乾燥させてカゴに仕立てます。比較的扱いやすい素材として、最近では、取っ手と縁かがりを頑丈に仕上げ、長めの取っ手で肩掛けもできるようなカゴバッグも作られています。 [資料協力:民具なかざり]



奉仕しよう みんなの人生を豊にするために

2021-22年度RIテーマ

RI会長：シェカール・メータ

地区ガバナー：若林 英博 氏

「世界で、日本で、地域で良いことをしよう」

☆大きな目標と5項目☆

1. 新型コロナウイルスで困っている人々を支援しよう
2. ポリオ根絶に向けて頑張ろう
3. 元気なクラブになろう
4. 会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう
5. ロータリーの公共イメージをアップさせよう

3月のプログラム 3/9(水)入会式並びに会員卓話 3/16(水)移動例会(与那国島訪問) 3/23(水)休会

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

☆総会員数: 46 名 出席義務会員数: 45 名
☆出席人数: 25 名 欠席人数: 25 名 出席率: 55.55%
《司会進行: 玉城 力》
☆ロータリーソング: 君が代 四つのテスト
☆ソングリーダー: 橋本 孝来
☆メイクアップ: 前木 繁孝

会長挨拶: 黒島 剛



先ほどの吉田幹事からもありましたようにトンガの寄付金については、我々も海底火山を持っている地域に住んでいるということで、いつ我が身かと考えるとトンガに起きた噴火への寄付金一人千円、合計 45,000 円を寄付させて頂くことになりました。ありがとうございます。先週は石垣市長選挙があって皆さんいろいろと忙しくしていたと思いますが、我々の名誉会員の中山さんが当選したということで引き続き名誉会員をお願いすることになると思います。ここに演台がありますが、何十年使ったか分かりませんがボロボロになっています。これを買換えたいと思い理事会にも提案いたしました。値段を調べると非常に高いので、既製品を買うのか、会員に木工屋さんがありますので作って頂くのか、エンブレムも少し変わったので引き続き使うこともできなくて、新調して新たな気持ちで話せたらいいなと前向きに検討しています。次の大浜勇人会長から新しい演台が使えるようにしたいと思っています。米山記念奨学会から、寄付した森田さんと私の方に、第 1 回米山功労者に感謝状が届きました。ありがとうございました。それから、ようやく与那国島で移動例会が出来るということになりました。再来週行きますが、参加者をもう少し増やしたいと思っています。宿泊はしなくてもいいので、観光しながら我々が寄贈する伝統太鼓使った子供達の演舞を観れたらいいなと思っています。自衛隊視察も入っていますので、ぜひ一人でも多くの会員が参加できたら嬉しいなと思いますので宜しくお願いいたします。

◆◆◆幹事報告: 吉田 貴紀◆◆◆

皆さん、こんにちは。コロナが落ち着き、リアルで開催できることを本当に嬉しく思います。本日、理事会がありましたので、理事会で決まった事なども含めまして報告をさせていただきます。ガバナー事務所から支援金のお願いについて書面が届きました。トンガ王国海底火山大規模噴火によって影響が出ているため、任意ではありますが可能であれば一人 1,000 円の寄付をとのことでした。理事会で審議したところ一人 1,000 円を拠出するという事が決まりました。

た。新入会員について、推薦書が理事会に提出されており、(株)玉吉建設 代表取締役の玉吉秀庸様が承認されました。4/13 に若林ガバナーが来島し卓話をされる予定です。4/12 に宮古島 RC へ訪問され、夕方には石垣に入ることです。感染症を鑑みながらですが、今のところ 4/12 に懇親会なども計画する予定となっております。その際には、皆様にご連絡させて頂きたいと思いますので、宜しくお願い致します。3/16 には移動例会がございます。現在、出席される方は 14 名となっております、日帰りが 8 名、宿泊の方が 6 名です。今週中にはある程度大まかな人数の確定をしたいと思います。3/16 石垣空港を出発し、与那国島ではレンタカーを手配しており、午前中に観光して午後 2 時には与那国駐屯地視察、4 時には与那国中学校へ訪問、例会スタートして子供たちの演舞を観たあとに記念撮影。日帰りの方はそのあと空港へ、ご宿泊の方は、宿泊先へ向かい 18:00 から懇親会、翌日に石垣へ戻るような行程になっています。まだ参加は可能ですので、早めに返事をお願い致します。2019-20 年度・2020-21 年度の沖縄分区分からの返金分がございました件ですが、新旧合同理事会でポリオプラスへ寄付することが承認されていまして、一人 5,000 円×44 名の会員、合計 220,000 円を 1/13 に送金いたしましたのでご報告申し上げます。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

橋本孝来危機管理委員長: ワクチン接種のスケジュールについてご案内させていただきます。現在アリーナにおいて集団接種を行っています。接種後 6 ヶ月以上経った方はどなたでも来た人は受けられます。できれば予約を取って欲しいのですが、いきなり来られても対応ができる状態です。3/15 まで、ただし 3/4 日は高校 3 年生の島を出て行く子供達が免疫をしっかりとつけてから島外を出るようということで高校三年生限定になっています。3/15 まではモデルナを使用したワクチン接種になっています。マラソン大会や海開きがありますので、その間はお休みで 3/28 から再び集団接種が始まります。28 日からのワクチン接種に関してはファイザーを予定しています。ファイザーの方が人気はありますが、現実的にはあまり変わらないです。細かい話をすると免疫の持ちがモデルナの方がどうも長く持ちそうだというデータが出ております。若干、発熱や筋肉痛で苦しんだという方もいらっしゃいますが、どうか早めに打って頂きたいと思います。いま陽性者が十数人か出ていますが、殆どが軽傷です。2 回済んだ人が結構多いんですね。免疫がだいぶ落ちてきているということでブーストをお願いしたいと思います。軽傷で済むからといっても、やはりまれにおきる後遺症問題もあり、これをずっと引きずって暮らすというのは大変なストレスになると思いますので宜しくお願い致します。PCRセンター

というのが設けられていますね。あそこは基本的に症状がある人が行ってはいけないところなんです。症状がある人は、医療機関に行かないといけない。ところがあちらで熱が出ている人や症状がある人がいっぱい集まるとそこが感染源になってしまって、そこで陽性と判明したらまた医療機関を受診して再検査を受けることとなりますので、周りの人にあそこは無症状の人が行くところですよというのをお伝えできれば有り難いです。100%のリスク回避は出来ませんが、どうか皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 会員卓話:新川正人氏 ◆ ◆テーマ◆
(八重山港運(株)代表取締役社長) 沖縄の海上物流について

卓話を昨年から新垣さんに言われていましたが、今日になってしまいました。「沖縄の海上物流について」の資料は、2020年1月27日の2年前に中学生向けの出前講座での資料になります。私は、石垣島に来て4月で1年になります。折角ですので、自己紹介をさせて頂きたいと思っております。1965年生まれ来月の4月には57歳になります。那覇市に生まれまして、小学校6年生の時には身長が158cmの体重が65kgの肥満児でした。中学校で友達にバスケットに誘われて、身長が12cm伸びて体重は変わらない。そうすると貧血で毎日フラフラしながら走っておりました。高校、大学を出て琉球海運の職員になりますけれども、運良く嫁さんもらって子供は二人、2007年にはローンを組みましてお家を建てましたが、翌年には単身赴任で大阪で6年過ごしました。本当にサラリーマンは厳しいもので、大きな借金をしたら辞めないだろうということで琉球海運は毎回、家を造ると出先に飛んで行くという流れでした。6年間の単身赴任だったので、子供が男の子二人、中学生と小学生のやんちゃな次期で、壁に穴をあけたりと子供たちはやりたい放題でお金ばっかりかかっていました。趣味として野菜を作っていました。収穫したゴーヤは、会社の女性職員に配ったりすると譲渡が沢山くるというシステムになっていました。バナナも植えておりました。これは八重山港運の会社ですが、建物は綺麗だったんですが、会社の前の植栽が、市が管理しているのですが、管理されずに草は伸び放題、ゴミは捨て放題だったので、私の方で植栽を買って出てやったら、今度は市の方からぜひ管理して下さいとの要請のもとに、社員と頑張って植栽や、なかでも遊歩道を作ったり好きなようにしていました。配偶者には妻がいますが、中学・高校と同級生で看護師をしています。コロナ禍でこの一年間、石垣に入ることにはまだできていないです。長男は26歳の会社員、次男が大学2年生で東京にいますけれども、コロナ禍でキャンパスに行く機械も非常に少なくなって、学生としての楽しみもないと嘆いております。本題に入ります。海事教育というのをしまして、文部省の方で小学・中学・高校生向けとそれぞれあ

りますが、四方を海に囲まれている日本という国を子供達に知ってもらいたいということで実施されているところなんです。目次としては、1.海上物流の重要性について、2.沖縄の海運の歴史、3.現在の海上物流について、4.海上物流の紹介ムービーということになっています。最初に子供たちにクイズでつかみをやっていくんですけども、船と飛行機によって運ばれていないモノはなんですか？ということなんです。実はこれは引っかけ問題で、全てが船と飛行機で運ばれているところのつかみをやっています。平成29年に沖縄本島に運ばれたモノの全輸送量では、県外から沖縄に712万トンの、海外から沖縄に約102万トンの合計で814万トン。具体的に814万トンというのは、子供達に想像してもらうために、プロ野球選手の山川穂高選手が103kgぐらいあるので、約8000万人分、糸満市マグロ水揚げ量の約1万2600年分(H26年646トン)という形で子供たちには理解してもらっています。814万トンの船の比率が94%、飛行機が6%との比率から船がいかに重要かということアピールしています。船と飛行機ではどれくらいのモノが運べるのかというと、琉球海運の船は長さが180mあって約1万トン、飛行機は70mで約50トンです。この1万トンはどれくらいのボリュームを運べるかということ、具体的にはトレーラーと違ってモノを運ぶ専用の車ですが、13kmのトレーラーが177台、乗用車が290台、合計の長さが1840km程の船がありますよ、と子供たちへ説明しています。沖縄の海運の歴史については、1372年から明・清王朝との進貢貿易が始まりで、以来2年に1回の割合で1874年まで約400年続く進貢貿易とは、琉球王朝が明・清王朝への貢物(みつぎもの)を捧げ、多くの返礼品を与えられる公貿易(明・清王朝からの返礼品:鉄器。陶磁器など)沖縄からは、与那国馬、芭蕉布や日本の美術工芸品、東南アジアからの特産物などがあります。進貢船には、長さ30m幅8m高さ24mで200人程度の進貢使が乗船していました。1368年~1644年までの期間にアジア諸国の明朝貢回数琉球がトップで171回、日本は276年間で19回となっています。海上物流の現状については、那覇港を発着する本土航路は10社18航路35隻、先島航路は3社6航路14隻。船舶の種類はRORO船。コンテナ船、一般貨物船となっていますが、本土・先島航路はRORO船とコンテナ船が主流となっています。沖縄を経由する国際航路は、7航路、周6.5便。県内資本の琉球海運が隆雄に周1便、南西航路が厦門、基隆、隆雄に周1便配船しています。最後に6分ほどのDVD映像をご覧頂きたいと思っております。【DVD上映】1950年、沖縄で創業した琉球海運。創業当時より「夢と暮らしと文化を運ぶ」をモットーにお客様の荷物を安全に海上輸送しております。1万トン級のRORO船を6隻運航。日本の主要都市と沖縄を結び更には

台湾まで、RORO船の機動力とスピードを活かした質の高い海上輸送を実現しています。そして総合物流企業を目指す琉球海運は、海上輸送のみにとどまらず、最新の設備を備えた倉庫保管サービスも手がけています。琉球海運は、海上輸送、集貨、倉庫サービス、配送までをグループ企業一丸となって行う事により、ドア・ツー・ドアのきめ細かいサービスを実現しています。琉球海運は近年、沖縄と台湾の架け橋となるべく活動してまいりました。2015年に沖縄・台湾間を結ぶ航路の運航をスタート。外航船である「みやらびⅡ」を内外併用船として使用し、日本の九州から沖縄本島・宮古島・石垣島を経由し、台湾の高雄港まで運航しています。高雄港から那覇港まで通常の運航船だと、およそ40時間かかる場所、琉球海運のRORO船は、最速28時間の高速搬送ができます。スピーディーにより安全に確実に安定した運航を実現することで、お客様の安心を勝ち取ることに成功しています。2014年8月には、これまで台湾航路では使用出来なかった10フィートコンテナを使用可能にし、貨物の輸送を拡大。また、(株)商船三井さまとの業務提供により、高雄港から先の海外輸送も可能になりました。琉球海運は、

沖縄と台湾の架け橋となるため、挑戦の歩みを止めることなく突き進んでまいりました。そして2019年ついに琉球海運台湾事務所を台北の地に開設いたしました。台湾に拠点を持つ事により、この地に根を張り行き届いたサービスを台湾のお客様へ提供することが出来るようになります。高品質、スピーディーな海上輸送はもちろんのこと、日本企業との仲介、台湾市場の情報を収集し、沖縄本社へ発信。また、那覇港に2019年4月に新設された那覇港総合物流センターの超低温庫、急速凍結庫、鮮度保持システムの整備、更にはマイナス60℃対応のスーパーフリーザーコンテナの導入で、より高品質なコールドチェーンサービスが可能になりました。我々、琉球海運がご提供するの、まさに日本品質のサービスです。台湾が一番近い日本、それが沖縄です。今後は、琉球海運がより一層、台湾と沖縄の距離を縮めるべく全速前進してまいります。そして私たちはここ台湾を基点に更に南への進路を見つけています。台湾と沖縄が一体となって、日本とアジアを結ぶ架け橋となる、その大きな夢への航路は、いまここに誕生した琉球海運台湾事務所から伸びているのです。ご清聴ありがとうございました。

----- ～ 例会風景 ～ -----



【第1回 米山功労者 感謝状贈呈】
黒島剛会長・森田安高直前会長



本日のニコニコ：☆黒島剛氏：新川会員、卓話ありがとうございます。☆上勢頭保氏：久しぶりの例会 1日も早いコロナの終息を祈ります。
☆森田安高氏：コロナに負けず！皆で乗り越えていきましょー！！☆橋本孝来氏：リアル例会の有り難みを感じます。引き続き感染対策をお願い致します。☆大田次男氏：皆様、色々お疲れ様です。ワクチン3回目接種も終わり少し安心してます。☆宮城早人氏：新川さん 卓話ありがとうございます。皆様との久々の再会嬉しいです。☆今西敦之氏：中山義隆名誉会員 ご当選おめでとうございます。☆新垣精二氏：新川さん 卓話ありがとうございます。☆新川正人氏：ありがとうございました。☆垣本徳一氏：新川さん 卓話ありがとうございます。

◆BOX¥10,000(累計¥217,450) ◆コイン¥2,844 (累計¥45,206)合計¥262,656



大浜一郎氏 7日(月) 宮良幸男氏 13日(日) 大田次男氏 14日(月) 玉城一吉氏 14日(月) 南波正幸氏 29日(火)

